



総本山  
金剛峯寺



# 霊場 高野山

高野山は弘法大師(空海上人)が嵯峨天皇の弘仁七年(八二六)真言密教の根本道場として定められ、国の平和を祈り国民に安らかな生活への道を伝え、併せて末徒の修禅観法のため、また自らの入定の地とする崇高な目的をもつて開創せられた。

海拔九百メートルの高峰上にある総面積百十万余ヘクタール(三十三万坪)の一大盆地である。山の姿は四仏四菩薩を象徴したといわれる内八葉・外八葉の峰々に囲まれ、さながら八葉蓮台の形をなしている。

この山は開創以来千九百九十余年に亘って、一般庶民の強い信仰と支持を集め、宗派にとらわれず、あらゆる階層の人々の心の憩いの場として、或は魂の安息所として発展し、今日の如き一大仏都をなすに至ったのである。年々歳々この聖地に杖をひく人々は百万を超える。



## 総本山 金剛峯寺

金剛峯寺の名称は弘法大師が、金剛峯楼閣一切瑜伽瑜祇経の深意を象徴するものとして命名されたもので高野山一山の総称であった。この寺は文禄二年(一五九三)豊臣秀吉が亡母の菩提のために建立、更に文久三年(一八六三)再建されたのが現在の建物である。

明治二年金剛峯寺と改称されるまで青巖寺と呼ばれていた。大主殿(東西54米・南北63米)和歌山県重要文化財)のほか、別殿・新別殿・奥殿・新書院・茶室・阿字観道場・経蔵・鐘楼・後庭に伝燈国師廟・護摩堂等が並び輪奐の美をなしている。

現在の金剛峯寺は一つの独立した形をなし座主の住寺であるが、高野山全体を総轄する伝統はそのままここに残され、又、高野山真言宗の総本山として一切の宗務を司どる宗務所があつて全国及び海外の末寺四千カ寺の行政を統へ、七千万大師信徒の信仰の中心となつている。



■和歌山県高野町高野山  
 ■TEL. 0736-56-2011 (代)  
 ■FAX. 0736-56-4640  
 ■http://www.koyasan.or.jp/





### 新別殿

昭和59年(1984)の弘法大師御入定1150年御遠忌大法会執行に、大勢の参詣者の接待のため、記念事業の一環として同年1月に新設された。



### 奥書院

防寒用に座敷内に囲炉裏(土室)が設けられている。襖の絵は落款から雪舟の4代目雲谷等益とその息子の等爾の作。



### 柳の間

襖の柳鷺図は、その落款から山本探斎の筆になる。豊臣秀吉に追放され、この山に來た秀次は、この山の木食応其上人の助命の願いにもかかわらず自刃を命ぜられた。その自刃の間として有名。

### 大広間

御持仏の前の大広間で、重要な儀式や法会が行われる。襖の群鶴図は、落款、印章はないものの、その作風から江戸時代初期に活躍した雲谷等顔の弟子で、斎藤等室の筆によるものと確実視されている。



### 別殿内部

襖絵は、守屋多々志画伯の作で、四季の花や鳥、弘法大師入唐の様子が描かれている。



### 上壇の間

昔、天皇・上皇が登山された際、応接間として当てられた所で、現在は、当山の重要儀式が行われる。壁は総金箔押しであり、天井は折上式格天井の書院造の様式で、上々壇の格天井はすべて花の彫刻が施される。欄間は透し彫りとなっている。



### 蟠龍庭

石庭としては我国最大の庭(2,340平方メートル)である。雲海の中で雌雄一對の龍が、奥殿を守っているように表現されている。龍は四国産の青い花崗岩140個。雲海には京都の白い砂が使われている。

### 真然廟(県重文)

寛永17年(1640)建立。総本山金剛峯寺境内の小高い丘に位置し、正面に向拝を設け、屋根は宝形造、檜皮葺の建物。建立以来、幾度かの修理工事を重ねたが、平成2年(1990)9月の真然大徳1100年御遠忌を迎えるにあたり、その記念事業の一環として、昭和63年(1988)8月に解体修理工事に着手、翌平成元年(1989)10月に完成した。当初真然堂と呼ばれていたが、発掘調査の時、お骨の納められた御舍利器が発見されたので、新たに真然廟として手厚く祀られた。







#### 大塔

真言密教の根本道場として建立されたので根本大塔という。多宝塔としては日本で最初のもので、胎藏界の大日如来と金剛界の四仏が祀られる。



#### 金堂

平安時代半ばから一山の総本堂として重要な役割をはたしてきている。本尊は高村光雲作の薬師如来が奉安されている。



#### 徳川家霊台

寛永20年(1643)三代將軍家光によって建立された。一重宝形造りの同じ建物が左右に並んでいる。



#### 弘法大師御廟

御廟は大師信仰の中心聖地である。各宗派の祖師のなかでもただお一人入定信仰を持つ大師は、今でもここに参るあらゆる人を救いつづけていると信じられている。



#### 大師教会

この大講堂は大正14年(1925)高野山開創1100年記念として建てられたもので、本尊は弘法大師、脇仏は愛染明王・不動明王が奉祀されている。



#### 霊宝館

金剛峯寺をはじめ一山に伝えられている貴重な文化遺産を保護収蔵し、一般に公開するため大正10年(1921)に開設された。